

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 橋本 弘

■連絡先
〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX:03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>

■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあ園 あいのわ支援センター あいのわ相談センター

祝 成人式



神明障がい福祉施設



足立あかしあ園



舎人あかしあ園



綾瀬あかしあ園

年頭のご挨拶



理事長 橋本 弘

あけましておめでとつござい
ます。
皆様におかれましては、幸多
き新年を迎えられたことと存じ
お慶び申し上げます。また日頃
より当法人の事業運営に格別のご支援を賜り、誠にあり
がとうございます。

昨年は風水害が多く、とりわけ台風19号の際には足立
区の河川も増水し、私を含め多くの区民の方々が緊張と
ともに一夜を過ごしたことと思います。今年は災害が少
ない年になることを願うとともに、法人の各施設の風水
害に対する対応策も再検討してまいります。

さて昨年は、ワークライフ・バランスをはじめ法人職
員の働き方に関する様々な取り組みが進展し、国や東京
都などから表彰される機会もありました。詳しくは本号
の中に特集記事を掲載いたしましたのでご覧頂ければ
幸いです。厳しい雇用環境の中で、人材の確保
と育成のために、一人ひとりの職員を大事にし成長を促
す仕組みを確立する必要があります。今後とも職員の働
き方に関する取り組みを継続してまいります。

今年度は来年の花畑新施設開設に向けて注力していく年
になります。様々な課題が予想されますが、皆様のご期
待に沿える施設を開設していけるよう最大限の努力を傾
注してまいります。

皆様のおますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。
新年のご挨拶といたします。

祝成人式

神明福祉作業所

神明福祉作業所では2名の方が成人を迎えました。お祝いの乾杯を皆で行い、新成人の方より抱負を発表して頂きました。緊張しながらも「20歳になった感想」や「将来の夢」、「今後頑張りたい事」などそれぞれの思いを精いっぱい、伝えてくれました。

また、20年前に関するクイズでは皆で盛り上がり、スライドショーでは、「懐かしいね」との声もありました。会場全体が拍手や笑顔に溢れ、とてもあたたかいイベントとなりました。



(鎌田記)



神明福祉園

神明福祉園では1名の方が成人を迎えられ、1月15日（水）に『成人を祝う会』を行いました。今年度も前半にフォーラム・後半にカジュアルと形式を分けて行い、前半はご来賓や学生時代の恩師からお祝いの言葉をいただきました。皆さんから「入所した時と比べて凛々しい顔立ちになっていて驚いた」とお話があった通り、真剣な表情でお話を聞かれています。後半は、お父様から心温まる思い出エピソードや先輩利用者の方からお祝いの言葉をいただき、リラックスした雰囲気と笑顔で溢れていました。また、乾杯の場面ではノンアルコールシャンパンを開け、大いに盛り上がりました。

ご参列の皆さんから沢山の拍手とお祝いの言葉をいただき、笑顔と和やかな雰囲気にも包まれた素敵な会となりました。

(神野記)



綾瀬あかしあ園

綾瀬あかしあ園では、1月10日に成人を祝う会が執り行われました。今年度は1名の方が新たに成人の仲間入りをされています。スーツに身を包み、誇らしげな表情でご入場されると会場からは盛大な拍手が沸き起こりました。式内ではご本人の誕生から今までの思い出の写真のスライドショーで振り返ったり、ご家族からの想いのこもったメッセージに涙ぐむ利用者の方もおられ、温かい雰囲気に包まれた式となりました。

(塩賀記)



足立あかしあ園

1月14日に「成人を祝う会」を執り行いました。当日は利用者の方々、来賓の方々、保護者の皆様を迎えられ、1名の方が成人を迎えられました。

少し緊張された表情でご入場されましたが、来賓の方からのご挨拶の際はリラックスした表情でお話を聞かれ、お話の間には笑顔で「はい」とお返事をされていきました。ご参列の皆様からたくさん拍手をいただき、温かい成人を祝う会を行うことが出来ました。

（百瀬記）



舎人あかしあ園

1月8日（水）に舎人あかしあ園では、2名の方の「成人を祝う会」を行いました。きりつとしたスーツ姿と晴れやかな振袖姿でご家族の方と共にあたたかな拍手の中、入場されました。利用者の母校の先生より「ついでこの間まで幼かった2人が今はこんなに立派な成人となり、月日の早さを改めて実感します」とのお話がありました。在籍利用者代表あいさつでは「大人になることは自分の意思で決めていくということ、良いことも嫌なことでも沢山ありますが、自分の気持ちや意見を大切にしたい」と力強く温かいお祝いの言葉がありました。最後に成人を迎えた利用者からご両親へ手作りのメッセージを添えた感謝の言葉に、会場で見守る全員が感動に包まれました。

（阿部記）



令和元年度第4回理事会報告

日時…令和元年11月22日（金）
場所…東天紅会議室

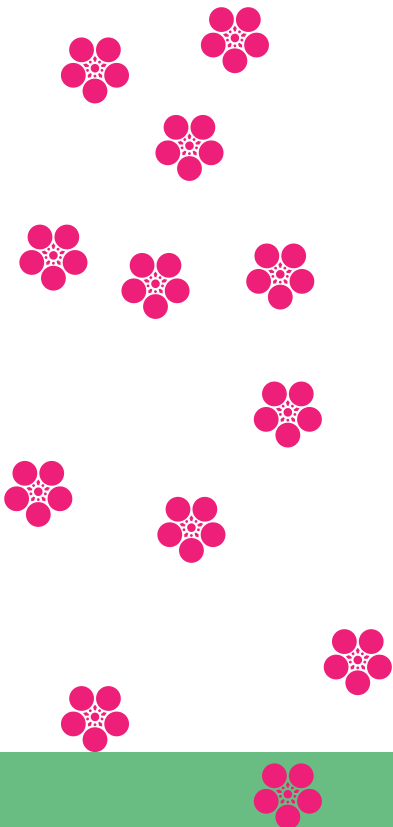
報告事項

- ①竹の塚あかしあの杜…外壁・省エネルギー化
改修工事入札実施後の経過報告
- ②東京オリピック・パラリンピック開催に伴う法人としての取組報告
- ③新規事業「緊急保護事業」実施報告
- ④令和3年度地区割り報告

議事

- ①令和元年度上半期事業報告・決算報告に関する件

今回の理事会には評議員の方々にも陪席頂き、法人運営に関して広く意見交換する機会となりました。また、理事会終了後は懇親会を開催しました。



「足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業」に選定！

「分野別マスター」全項目認定！

令和元年12月6日、あいのわ福祉会は足立区の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」に再認定されました。足立区ではこれまで実施してきた認定制度を一新し、本年度より「経営者の取り組み」、「健康経営の取り組み」、「女性活躍の取り組み」、「仕事と育児介護との両立支援」、「職場環境の整備」の5つの分野＋労働関係法的審査の分野別に評価が行われ、その獲得した分野の数に応じて一ツ星から三ツ星の認定が頂ける制度となりました。また、更には分野別の評価において、標準項目数でなく、分野内の全項目をクリアした場合には「分野別マスター」として認定されることとなりました。

当法人ではこれまで職員が長く安心して働き続けられる環境づくりを進めてまいりましたが、その実績が高く評価され、今回、三ツ星の推進企業として認定されると共に、5つの分野すべてで「分野別マスター」の認定がなされました。

当法人は多岐に亘るご利用者のニーズに応え得る事業展開をしていくため、多様な働き方の価値観を持った人材が活き活きと働き続けられるよう、「Innovation（あいのべーしょん）」と最高の職場環境が、最高の利用者サービスへ」とするワーク・ライフ・バランス推進ビジョン実現に向けた取り組みを推進し、職員一人ひとりの人生を大切にしたいと思っています。

（佐藤記）



厚生労働省イクボスアワード2019

「特別奨励賞」を受賞！



この度、厚生労働省イクメンプロジェクト「イクボスアワード2019」の特別奨励賞を受賞しましたことをご報告させて頂きます。

厚生労働省は、育児を積極的に行う男性従業員「イクメン」を応援し、企業において従業員が育児制度を取得しやすい環境整備を推奨する「イクメンプロジェクト」を実施しています。また、平成22年より年に一度、本プロジェクトの一環で、育児を行う労働環境が整っている企業や、部下が育児制度を取得しやすいように工夫している管理職を評価・選定し、その取り組みを多くの企業に広める表彰制度を実施されています。本年度はイクメン企業アワード42社、イクボスアワード58人にもなる応募の中から、ICTを活用した効率化や、ワーク・ライフ・バランスに関するガイドブック等による理念や制度の浸透・定着を図る取り組みが評価され、当法人職員が特別奨励賞を受賞し、加藤厚生労働大臣より直接表彰状と楯を授与されました（受賞者：法人本部事務局長・佐野佑）。



職員のワーク・ライフ・バランスに重点をおいた職場環境改善への取り組みの成果の一つとして、本年度は3名の男性職員が育児休業を取得し、まさに「イクメン」として家庭でも職場でも活躍しています。

これを一つの契機とし、今後も職員一丸となり、更にこの活動を進めてまいりたいと思えます。

（佐藤記）

内閣府発行メールマガジン

「カエル! ジャパン」に掲載!

令和元年9月24日配信 内閣府発行メールマガジン「カエル! ジャパン通信」に当法人のワーク・ライフ・バランス取組事例が掲載され、日本全国4500の企業・自治体・関連団体等に配信されました。

「カエル! ジャパン」とは「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現に向けて、「ひとつ働き方を変えてみよう!」をキャッチフレーズに、「ひとりひとりが、仕事も、人生も、めいっばい楽しめるそんな会社や社会になるといいね」といった願いが込められたプロジェクトです。様々な業種の企業の先進的な取組みを共有することにより、会社や社会を変えていく。当法人の取組みを広く知って頂くことにより福祉業界だけでなく、社会全体の雇用環境改善の一助となるよう広報活動を継続していききたいと思います。

(豊島記)



公益財団法人東京しごと財団発行

「TOKYO シャイン」に掲載!

令和元年12月25日発刊 公益財団法人東京しごと財団発行 中小企業特集冊子「TOKYO シャイン」に当法人が掲載されました。

「TOKYO シャイン」は東京しごとセンターが、若手求職者向けに東京都内の中小企業を紹介する冊子です。本号では女性が活躍している企業がテーマであり、法人設立時より男女両性が活躍し続けている実績から選定されたものです。

紙面では、酒井常務理事より法人の求める人物像や働き方改革への取組みを紹介すると共に、足立あかしあ園の松本美紀職員にフィーチャーし、利用者との触れ合いを通じた介護の魅力をPRしています。今後も多くの求職者に情報を発信し、引き続き優秀な人材の安定的な確保に努めてまいります。

(豊島記)



投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

七五三言祝（ことほ）ぐ祖母の笑皺

秋山 啓司

▼この句

「園児等の写生している蜜柑山」岩城 英雄

蜜柑園は南向きの傾斜地に広がっている、緩やかな日差し
のなか、遠く碧々と光る海を視野に入れながら園児等は写
生に余念がない。（秋山）

後援会だより

（令和1年9月〜令和2年1月） 敬称略、順不同

【特別会員】（1001万円）

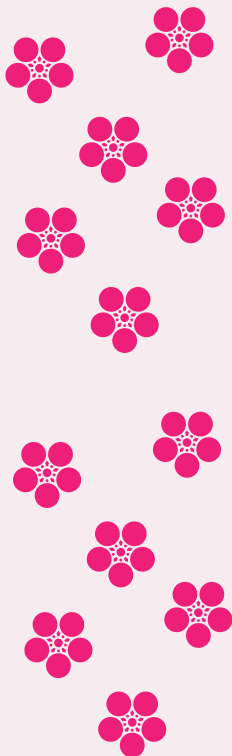
大川博司、大川恭子、羽住奎・爽恵

【一般会員・団体会員】（1003千円〜5千円）

横山京子、比留間ちづ子、舎人あかしあ園保護者、犬塚喜久男
西村文雄、山野正雄

【寄付者】

東京西新井ライオンズクラブ、株式会社アドバンス、藤巻暎一
西澤歯科医院、菊地英司、匿名希望者
東京都立青井高等学校生徒会、橋本幸子



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていく
ことを主として後援会活動を行っております。
一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお
願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局
電話（3849）1188まで

新規採用職員紹介

編集後記

新年あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。
令和2年最初の「あいのわ」をお届けします。今年も東京オリピック・パラリンピッ
クが開催されます。足立区も聖火ランナーが走り抜けるという事で、竹ノ塚周辺からス
タートし、千住の市場まで走るそうです。法人利用者も十数名の方がエントリーしまし
たが、残念ながら当選した方はいなかったようです。
オリピック・パラリンピックと同じくらい、法人各施設で行われる行事や法人の取
組みなど利用者の方が日々頑張っている様子を皆様にご覧になっていただきたいと思います。
（市原記）



杉山 裕史（綾瀬あかしあ園）
6月より綾瀬あかしあ園で働いています。今回、障がい者施設に初めて入社しましたが今まで働いていた老人福祉施設での経験を活かし利用者の方・ご家族の皆様が少しでも笑顔になれるお手伝いを出来ればと思います。よろしくお願ひ致します。



青柳 輝（綾瀬あかしあ園）
別の法人で就労継続支援B型に約1年半務めていました。生活介護は初めてなので不慣れなことも多々あるかと思いますが、焦らずチームの一員として動けるよう精進していきたいと思ひます。



諏佐 好代（神明福祉園）
まろやかな配慮と心配り、そして、皆さんの心に寄り添える支援員になりたいです。至らない点もあると思ひますが、笑顔を絶やさず一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



酒井 一也（神明福祉園）
8月に入社した酒井です。笑顔を忘れず、利用者の方に寄り添える支援員になりたいと思っております。まだまだ至らない点もありますが、一日一日を大事にしていきながら頑張っておりますので、よろしくお願ひ致します。



大木 美香（竹の塚あかしあの杜）
私は、竹の塚あかしあの杜が大事にすることの理念が良いと思ひているので、利用者の方が自分で選んで、自分で決めて、自分で叶えることができるように、安全に安心して生活が送れるよう支援していきたいと思ひています。よろしくお願ひいたします。

